



### <月のテーマ：あそびこむ>

### 年齢別 月の保育のねらい

#### <2歳児>

- 思いを伝えながらグループ遊びを楽しむ。
- 体験したことや感じたことなど、言葉にして保育者や友だちに伝えようとする。

#### <4歳児>

- 仲間意識を持ち、役割分担をして遊ぶことを楽しむ。
- 生活や遊びの中で、自分なりのイメージを表現する楽しさを味わう。

#### <5歳児>

- 友だちと共通の目標に向かって取り組む楽しさを知る。
- 異年齢の友だちとの関わりを深め、リーダーとしての自覚を持つ。

#### <学童>

- 友だちとの関りの中で相手の存在や思いに気づき、どのようにかかわったらよいか、考えながらわかる。
- 好きな遊びにじっくりと取り組み、発見を楽しむ。発見したことを伝え合う楽しさを味わう。



世界中のこどもたちが



### <ハロウィンをしよう> ~10月31日(月)~



毎年、社会の風潮でイベントの広告が早くなっています。その広告を見て10月に入るころにはもうハロウィン、ハロウィンとウキウキしている子どもたちでした。

本当のハロウィンの時に飽きてしまわないように、保育室のメンバーは10月の中盤以降からハロウィンの準備を始めました。

切り紙をして、かぼちゃやコウモリを作り、天井からつるして雰囲気作りを楽しんだり、そこからお化けごっこが始まったり・・・

紙芝居『おぼけのスパゲッティー』を読んでオバケスパゲッティーを作って、ぐるぐる回る蛇を楽しみました。

『キノコ』の歌をうたいながら踊り始め、『キノコ』のお化けも作りました。

毎年作っている『かぼちゃランタン』、大きなカボチャを狙っていたのですが、今年はイノシシに畑がやられて大きなカボチャができなかったとお店の人に聞き、大きなカボチャをどうやって手に入れるか悩みましたが・・・いつもよりは小さいですが、普通のカボチャよりは大きなカボチャを手に入れることができ、かぼちゃランタンを作ることができました。学童の子どもたちと一緒に作りたかったので、午後の時間にモニカ先生を中心に作りました。

キャットハットを作って猫お化けになり、かぼちゃのお菓子入れをもってハロウィンのお菓子ゲームをすることにしました。保育室のメンバーは数日かけて作りためていきましたが、学童のメンバーは、当日、来てすぐに作っての参加となりました。さすが小学生、説明を聞き作り進め、作り上げました。成長を感じました。

『おかしくれなきゃ いたずらするぞ』『トリックオアトリート』

と隠れている人に伝えることができると、お菓子がもらえるゲーム・・・クッキーをもって人が見つからず・・・Hくんのお母さんが廊下で背を向けて待っていました。最初に気が付いたのは・・・Rくん、Sちゃんなのですが、なかなか一声が出ず、苦戦していました。『おかしくれなきゃ いたずらするぞ』『トリックオアトリート』やっとこえがでて、「はい、クッキー」と渡されて、「ドキドキしたー」とうれしそうでした。もらったお菓子はお家で食べることにし、かぼちゃのケーキをみんなで食べました。

